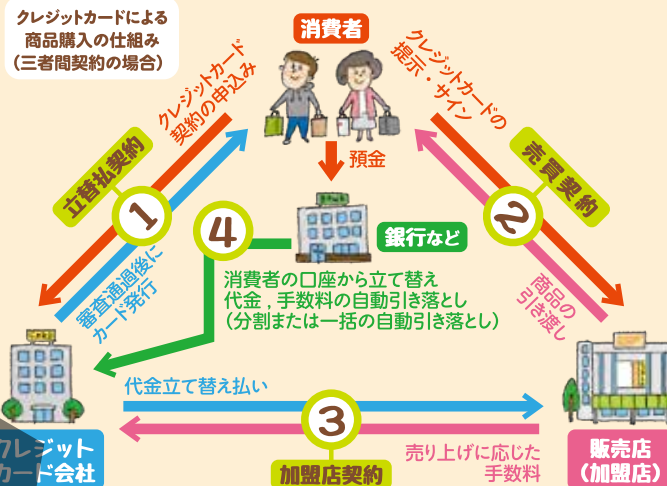


Q1 の答えは……

1 - B 2 - A 3 - A

解説 1 クレジットカードを使った売買には、買う人（消費者）、売人（販売店など）、クレジットカード会社の三者がかかわっている。これを三者間契約という。クレジットカード会社が、買う人の信用を元にお金を立て替えてくれていて、買った人は、後からクレジットカード会社に支払い（返済）をする。つまり、クレジットカード会社に借金をしているのと同じことになる。



解説 2 クレジットカードの機能に、お金を借りられる「キャッシング」がある。キャッシングで得たお金は自分のお金ではないため、それを返済にあてると、借金が増えることになる。手数料の分も新たに借りることになるため、さらに増えることになる。こうした状態を多重債務と呼ぶ。また、キャッシングの利率は、高い場合が多いことにも注意が必要。

解説 3 クレジットカードの返済には、一括払い、分割払い、リボ払いがある。リボ払いは、正しくは「リボルビング払い」といい、借入額にかかわらず定額ずつ返済していく方法。一度の返済額が少ないため、長期間支払い続けることになる。その結果、手数料を多く支払うことになる。

今が楽だからじゃなくて、ちゃんと計画的に使おうよ！

クレジットカードを使うときの注意事項

- 1 収入や支出を考えて（→p.14～15）、無理のない支払い計画を立てよう。
- 2 会計時の利用伝票や支払い明細書などは必ず確認しよう。身に覚えがない請求はフィッシングなどによる不正利用（→p.20～21）かもしれないため、すぐにクレジットカード会社に連絡！
- 3 引き落とし日までに銀行口座にお金を用意しておこう。返済が遅れると遅延損害金や、残金の一括返済を求められる。
- 4 他人に貸したり、暗証番号を誰かに教えたりするのはやめよう。家族や友達でもダメ！
- 5 返済ができなくなりそうになったら、消費生活センター（→p.23）に相談しよう。
- 6 紛失や盗難にあったら悪用されるおそれがあるため、クレジットカード会社と警察に届け出よう。

Q2 の答えは……

1 - デビットカード 2 - ICカード型電子マネー 3 - サーバ型電子マネー 4 - コード決済 5 - クレジットカード

使った金額が把握しづらいから、使いすぎには要注意！家計簿アプリなどを利用してかしく管理しよう。



現金を使わずに買い物をすることをキャッシュレス決済という。「前払い」「即時払い」「後払い」の3つの支払い時期で分けることができる。機能と注意点を知り、上手に使い分けよう。

前払い（プリペイド）

事前に入金（チャージ）しておき、残高（チャージした金額）から買い物の代金が引かれる決済方式。

ICカード型電子マネー（Suica, ICOCA, PASMO, 楽天 Edy, nanaco, WAONなど）、「サーバ型電子マネー（iTunesギフト, Google Playギフト, Amazonギフトなど）」などの種類がある。

主な注意点 残高が足りないと支払えない。クレジットカードでチャージすると、実質的に後払いになる。



即時払い（リアルタイムペイ）

買い物後すぐに銀行口座から代金が引き落とされる決済方式。

「デビットカード」を使った決済が代表的。

主な注意点 銀行口座の残高が足りないと支払えない。



後払い（ポストペイ）

買い物の代金を後日請求が来てから支払う決済方式。

VISA, Mastercard, JCB, ダイナースクラブなどの「クレジットカード」での決済のほかに、携帯電話料金と一緒に代金を支払う「キャリア決済」や、「一括払い型後払い決済サービス」（ツケ払い, Paidy）などがある。

主な注意点 クレジットカードの注意点→p.12



いろいろな支払い方ができる「コード決済」とは？

スマートフォンを使った決済方法には、スマートフォンを読み取り器にかざす「タッチ決済」と、二次元コードを利用する「コード決済」がある。コード決済は、スマートフォンの画面に二次元コードを表示させてお店にスキャンしてもらい、もしくは、スマートフォンのカメラでお店から提示された二次元コードを読み取る、どちらかの方法で支払う。

主なサービスには、PayPay, LINE Pay, d払い, au PAYなどがある。支払い時期や入金方法はサービスによって異なり、前払い・即時払い・後払いのいずれかになる。

